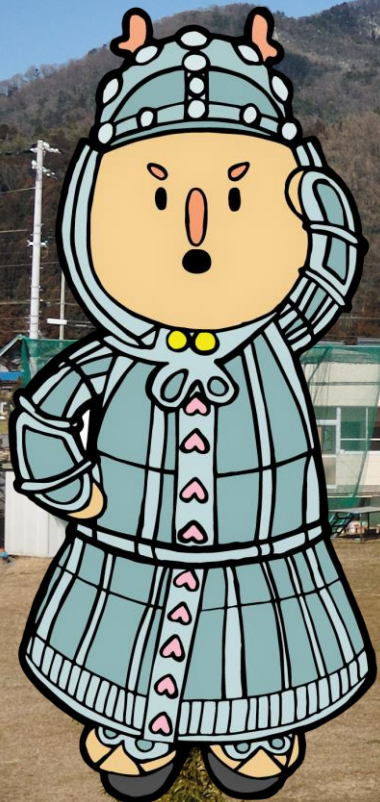


12/4

北陸ユネスコスクール実践交流会

福井県坂井市立鳴鹿小学校3年生の実践



令和3年度のスタートにあたって 学校全体の方針

ESD SDGsを通して育てたい力（スクールプランより）

◎ユネスコスクールとして、ESDの視点ですべての教育活動に取り組む。

- ・豊かな感性を育てる。
- ・自ら学習課題や学習課題を選択するなど、興味・関心を生かした自主的自発的な学習に取り組み、課題解決能力を育てる。
- ・「まほろば学習」の中で、SDGsに対して自分にできることに誠実に取り組む態度を養う。

令和3年度のスタートにあたって 学校全体の方針

「まほろば学習」を通して育てたい力

◎ESDの視点ですべての教育活動に取り組む。

→中心は総合的な学習の時間に取り組む「まほろば学習」

【まほろば学習で育てたい5つのE】

- ・探求する力（Explore）
 - ・想像する力（Envision）
 - ・表現する力（Express）
 - ・交流する力（Exchange）
 - ・評価する力（Estimate）
- 

3年生の実践 鳴鹿SDGs ～今、ぼくたちわたしたちにできること～

◎ESDカレンダーをもとにした実践のプランニング

ESDカレンダー 第3学年

鳴鹿小学校

自:自然調和型社会 低:低炭素社会 資:資源循環型社会 共:共生社会

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	もっと知りたい、友だちのこと(共)	気持ちをこめて「来てください」(共)			山小屋で三日間すごすなら(共・)	はんで意見をまとめよう(共)		すがたをかえる大豆食べ物のひみつ教えます(自)		わたしたちの学校じまん		これがわたしのお気に入り(共)
社会	学校のまわり(校区探検)(自・共)			農家の仕事(自)			店ではたらく人(共)			事故や事件からくらしを守る(自)		市の様子と人々のくらしのうつりかわり(自)
算数		ぼうグラフと表										
理科	春のしげんにとびだそう(自)	たねをまこう・チョウ	風やゴムで動かそう(自・共)			太陽のかけを調べよう(自)太陽の光を調べよう(自)						
まほろば	SDGsってなんだろ	海外、日本そして鳴鹿の昔と今と未来	ぼくたちわたしたちにできることはなんだろう			まほろばフェスティバル		SDGsアクション			活動を振り返ろう	
音楽	春の小川(自)	茶つみ(自)				うさぎ(自)				ふじ山(自)	日本の音楽に親しもう(共)	
図工		だんだんだんボール(共)				ギョギョコトントン(自)						
体育						百羽のツル(自)		健康な生活(自)				
道徳	あいさつをすると(共)	ツバメの赤ちゃん(自)	ごみステーション(共)			なかよしだから		百羽のツル(共)		ちゃん、大すき	大通りのサクラなみ木	
学活	ヌチヌグスージ(自)				ホテルの引っ越し(自)	いただいたいのち(共)			楽しい給食(自)	男女の協力(共)		
行事												

◎教科・領域を関連付け、多面的・総合的に学習を繰り返し発展させていけるようにする。(教師のプランニング)



【児童の思い・声】

3年生の実践 鳴鹿SDGs ～今、ぼくたちわたしたちにできること～

◎実践を進めるにあたって重要視したこと

◎児童一人一人の

「学習意欲」「知的探求心・好奇心」「社会や世界との関わり」

学びに向かう力、人間性等

が

持続可能で自分事として捉えられる

3年生の実践 鳴鹿SDGs ～今、ぼくたちわたしたちにできること～

◎学びに向かう力、人間性等が持続可能で自分事として捉えられる

- ・一手少ない指導に取り組み、児童の主体性や自立性を育てる。
- ・自らで課題を見つけて想像し、自主的自発的に取り組む環境作り。
 - 特設図書館の設置
(毎週図書館で本を借りたり、自前の本を常時100冊以上置いておく。その中に、さりげなくまほろば学習につながる本を置いておく。)
 - はてなノート取り組み
(普段の生活の中で、疑問に思ったことを調べ集めたノート)

3年生の実践 鳴鹿SDGs ～今、ぼくたちわたしたちにできること～

◎今年度の実践のフローチャート

Phase 1
「SDGsってなんだろう」
・SDGsについて知ろう!

・17の目標について知り、ニュースや新聞・本などで聞いたり見たりしたことと関連させながら、課題を見つける。
「なぜ海にゴミが多いのだろうか?」「鳴鹿から人がへっているけど、未来の鳴鹿の姿って?」「ぼくらの仕事は未来ではどうなっているの?」
「もっとSDGsについて知ってもらいたい!」 etc・・・

Phase 2
「世界、日本そして鳴鹿」
・現状を知り、未来を考えよう!

・課題に対して、現状や変遷を調べ未来を見通す。
※世界→日本→鳴鹿と焦点化させていき、より自分事として捉えさせる。

Phase 3
「ぼくたちわたしたちにできることはなんだろう」
・自分たちの考えを発信しよう!

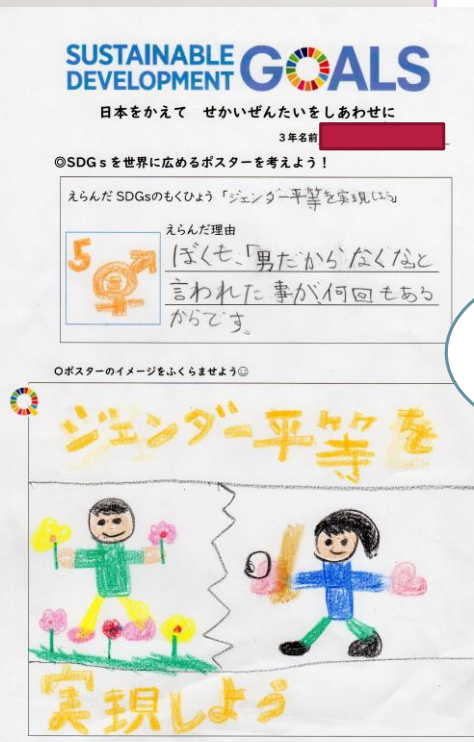
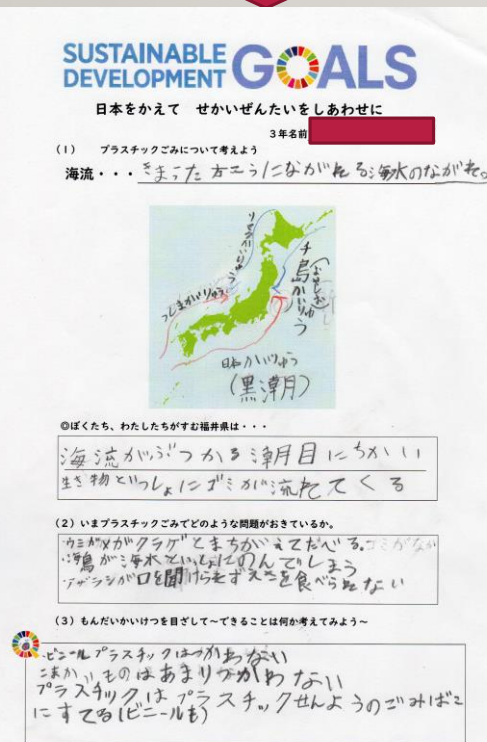
・まほろば学習の中間発表会→「まほろばフェスティバル」
異学年や保護者、地域の方々にまほろば学習で学んだことや今後の展望を発表した。
※自分たちの活動を省察・評価し、3学期や次年度へ学習を発展させる。

3年生の実践 鳴鹿SDGs ～今、ぼくたちわたしたちにできること～

◎具体的な実践の内容

Phase I
「SDGsってなんだろう」
・SDGsについて知ろう!

・17の目標について知り、ニュースや新聞・本などで聞いたり見たりしたことと関連させながら、課題を見つける。
「なぜ海にゴミが多いのだろう?」「鳴鹿から人がへっているけど、未来の鳴鹿の姿って?」「ぼくらの仕事は未来ではどうなっているの?」「もっとSDGsについて知ってもらいたい!」 etc...



SDGsを学習していく中で出てきた、児童からの疑問や課題をまとめ、知識をつけながら今後の見通しをもたせる。

【まほろば学習で育てたい5つのE】

- ・探求する力 (Explore)
- ・想像する力 (Envision)
- ・表現する力 (Express)
- ・交流する力 (Exchange)
- ・評価する力 (Estimate)

3年生の実践 鳴鹿SDGs ～今、ぼくたちわたしたちにできること～

◎具体的な実践の内容

Phase 2
「世界、日本そして鳴鹿」
・現状を知り、未来を考えよう！

・課題に対して、現状や変遷を調べ未来を見通す。
※世界→日本→鳴鹿と焦点化させていき、より自分事として捉えさせる。

【Phase 2 実践例】 ◎未来に鳴鹿がつながるために～未来の鳴鹿を想像し発信しよう～

・児童との実践アプローチまでの流れ

～始まりは社会科の学習で地図帳を使っていた時、世界の人口について話題になり調べ始める。～

児1：世界では人口が増え続けもうすぐ80億人だって。

児2：日本はどれくらいの人がいるんだろう。→約1億2千万人なんだって！

児3：でも鳴鹿は人が少ないね。

教師：世界はどうなっているんだっけ？じゃあ日本は？鳴鹿は？

児童：増え続けている。 調べてみたい。 →まほろば学習スタート

3年生の実践 鳴鹿SDGs ～今、ぼくたちわたしたちにできること～

◎具体的な実践の内容

Phase 2
「世界、日本そして鳴鹿」
・現状を知り、未来を考えよう！

- ・課題に対して、現状や変遷を調べ未来を見通す。
- ※世界→日本→鳴鹿と焦点化させていき、より自分事として捉えさせる。

【Phase 2 実践例】 ◎未来に鳴鹿がつながるために～未来の鳴鹿を想像し発信しよう～
・鳴鹿小学校が本年度児童数が93名と2桁になったことに児童は着目。
→鳴鹿小学校は将来なくなってしまうのかもしれない！
「未来に鳴鹿がつながるために、どうしたらよいのだろうか。」

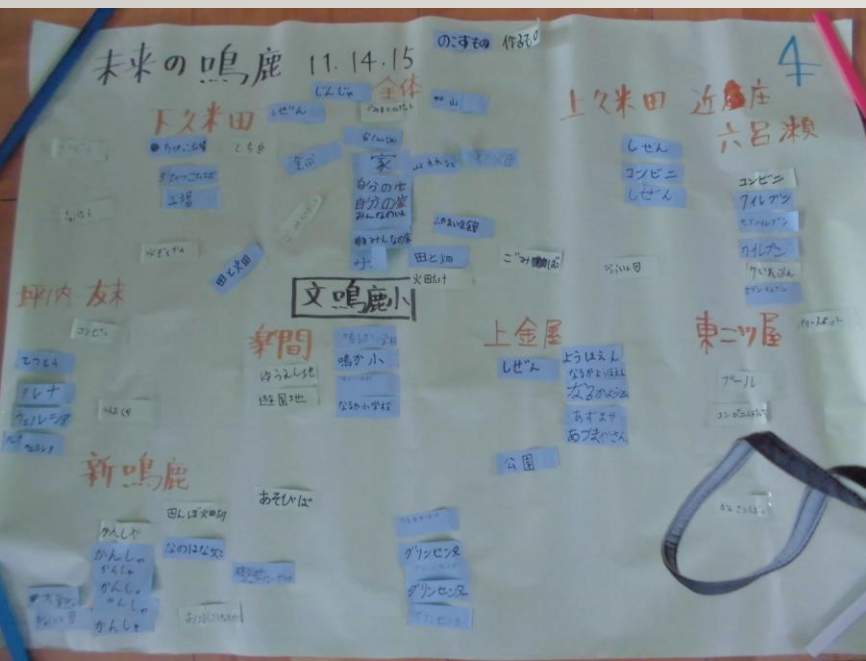
3年生の実践 鳴鹿SDGs ～今、ぼくたちわたしたちにできること～

◎具体的な実践の内容

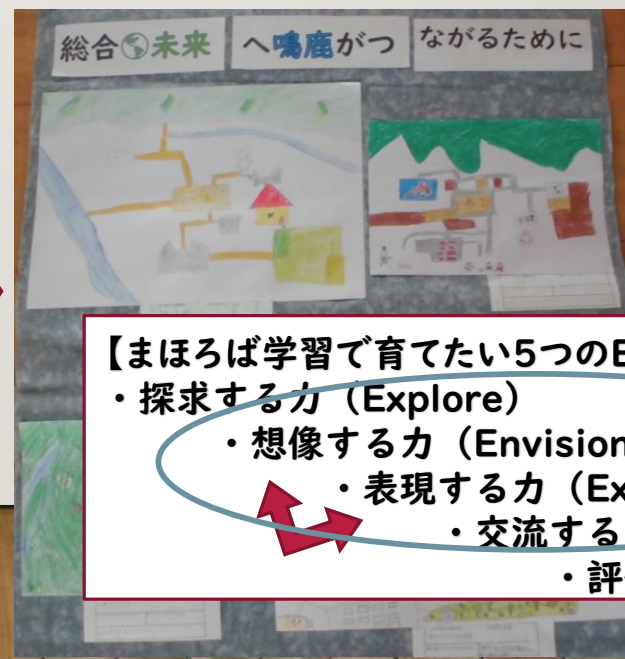
Phase 2
「世界、日本そして鳴鹿」
・現状を知り、未来を考えよう！

- ・課題に対して、現状や変遷を調べ未来を見通す。
- ※世界→日本→鳴鹿と焦点化させていき、より自分事として捉えさせる。

【Phase 2 実践例】 ◎未来に鳴鹿がつながるために～未来の鳴鹿を想像し発信しよう～



鳴鹿が持続可能となり得るために、それぞれの地区にのこしたいもの、つくりたいものを考え、アイデアを出し合う。



地区のお祭りで発信をした。

【まほろば学習で育てたい5つのE】

- ・探求する力 (Explore)
- ・想像する力 (Envision)
- ・表現する力 (Express)
- ・交流する力 (Exchange)
- ・評価する力 (Estimate)

3年生の実践 鳴鹿SDGs ～今、ぼくたちわたしたちにできること～

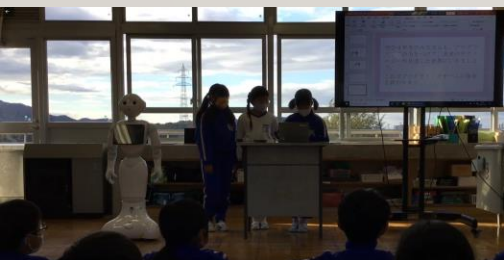
◎具体的な実践の内容

Phase 3

「ぼくたちわたしたちにできることはなんだろう」
・自分たちの考えを発信しよう！

・まほろば学習の中間発表会→「まほろばフェスティバル」
異学年や保護者、地域の方々にまほろば学習で学んだことや今後の展望を発表した。

※自分たちの活動を省察・評価し、3学期や次年度へ学習を発展させる。



【まほろば学習で育てたい5つの】

- ・探求する力 (Explore)
- ・想像する力 (Envision)
- ・表現する力 (Express)
- ・交流する力 (Exchange)
- ・評価する力 (Estimate)

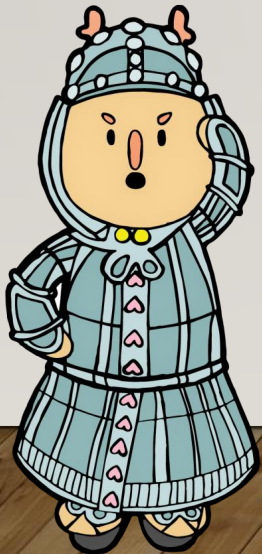
5つのチーム（海のごみと海流・プログラミングと未来の仕事・家庭ごみ・未来の鳴鹿・ポスターコンクール）に分かれ発表。

実際の発表の様子

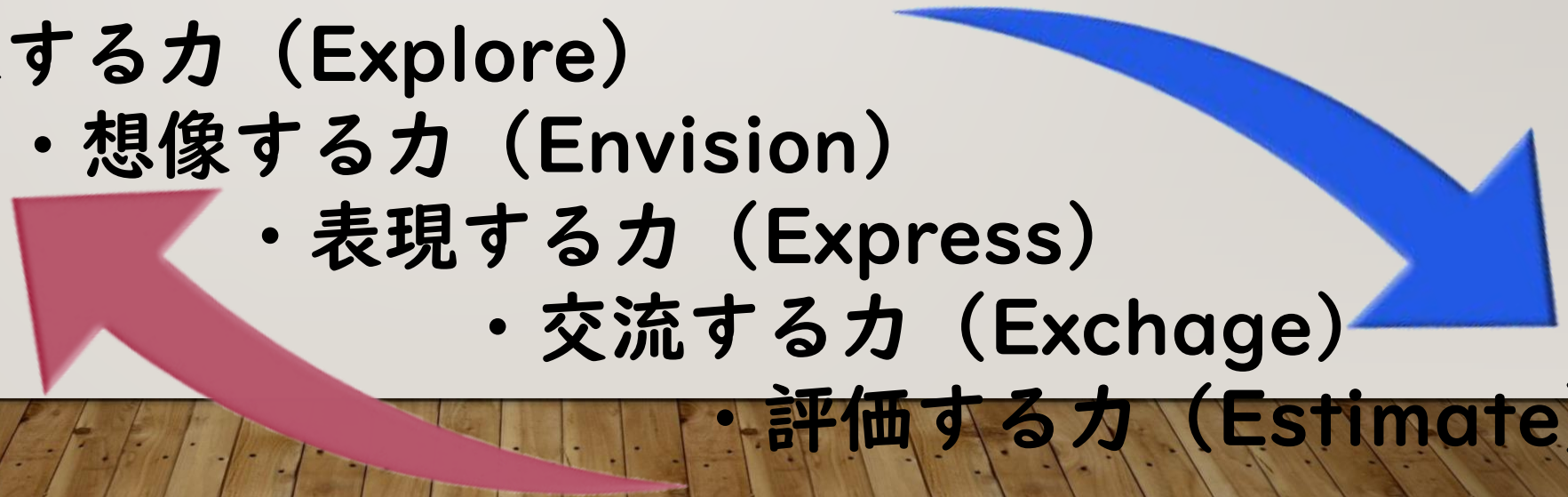


Future Outlook

・ 3年生におけるまほろば学習の初年度として、自分たちが住む地球・日本、そして鳴鹿の自然環境に着目し、それを守っていくために5つのEを意識して、自ら考え解決する能力や態度を身につけさせることができました。今後は今年度得た知識や力、情報をもとに地域や世界に向けて実際にどんなことができるのか探求・想像し、行動に移していきたいと思います。



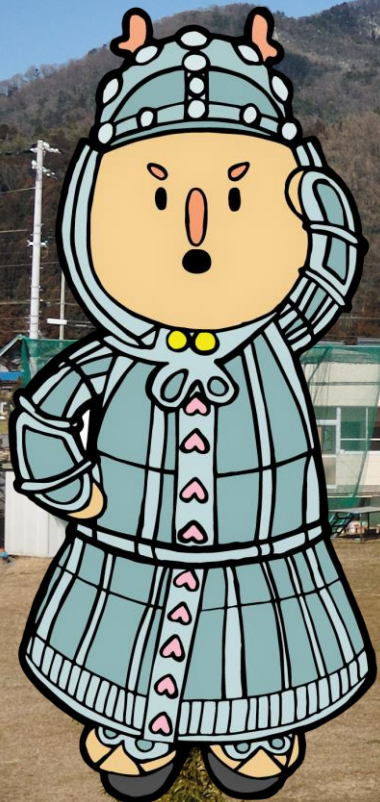
- ・ 探求する力 (Explore)
 - ・ 想像する力 (Envision)
 - ・ 表現する力 (Express)
 - ・ 交流する力 (Exchange)
 - ・ 評価する力 (Estimate)



12/4

北陸ユネスコスクール実践交流会

福井県坂井市立鳴鹿小学校3年生の実践



ご清聴ありがとうございました